

1	議席番号 10番 平野 積 議員	開始予定時間 6月11日 午前9時
<p>【全国学力・学習状況調査の平均正答率に関する目標未達成について】</p> <p>TCPトリビンスプランにおいて、子供に関する施策「子供の『確かな学力』を保障する環境づくり」の指標2に「全国学力・学習状況調査の平均正答率：県平均以上」が定められています。この指標と同内容の指標が、第5次及び第6次吉田町総合計画の「学校教育」分野の主な成果指標として記載されています。</p> <p>しかし、この指標は長年にわたって目標未達成です。その理由について、3月の一般質問において教育長から「理由の特定は難しいが、読解力を高めていくとともに、低学年の段階から基礎的、基本的な学習内容を確実に定着させていくことが大切になります。」との主旨の答弁が得られました。</p> <p>そこで、以下の点について質問します。</p> <p>(1) 上記指標2を小中学校の教職員はどのように捉え、長年目標未達成であることについてどのように考えているか。</p> <p>(2) 保護者は上記指標2が長年目標未達成であることをどのように捉えているか。</p> <p>(3) 3月一般質問の教育長答弁について</p> <p>① 「文章を読み解く読解力を高めていくとともに、低学年の段階から基礎的、基本的な学習内容を確実に定着させていくことが大切になります。」について、読解力の向上及び低学年からの基礎的、基本的な学習内容の確実な定着のためにどのような施策を打つのか。</p> <p>② 「読解力や思考力、表現力などを高めていくことが必要であると考えております。そのためには、教師の指導力の向上が求められますので、教育委員会といたしましては、全教職員研修会や学校訪問を通して、教師が児童生徒一人一人の状況を見取り、個に応じた支援によって学力向上を図っていくよう指導してまいります。」について、教師に対して具体的にどのような指導を行なうのか。また、その指導は今までの指導とどこが違うのか。</p> <p>(4) 平成29年10月27日の総合教育会議の資料に、学力調査の調査結果に基づいた授業実践の例として「物語を読み自分の考えをまとめる。」との記載がある。この授業実践は現在どのような状況か。</p>		

2	議席番号 8 番	開始予定時間 6月11日 午前10時
<p data-bbox="236 304 1190 342">【リニア中央新幹線建設工事が及ぼす吉田町への影響について】</p> <p data-bbox="217 349 1406 427">リニア中央新幹線事業が南アルプスの自然と大井川の水に関する影響が、当町にも及ぶ可能性を心配しています。</p> <p data-bbox="217 439 1406 607">J R 東海とは、現在静岡県 of 生物多様性、地質構造・水資源の両専門部会で環境影響の問題について対話を行っている中で、毎秒2トンものトンネル湧水による大井川の水資源の減少や生物多様性への影響、トンネル発生土による南アルプスの環境への影響など、対話事項は28項目もあります。</p> <p data-bbox="217 618 1406 696">南アルプスのかけがえのない自然と大井川流域の私たちの生活と産業に欠かせない「命の水」に甚大な影響を及ぼすことに大きな不安があります。</p> <p data-bbox="217 707 1406 786">これまで大井川利水関係協議会（利水協）を設置し、調整・交渉を行ってきたが、私たちの不安を取り除くには至っていません。</p> <p data-bbox="248 797 708 835">以下の点について質問します。</p> <ol data-bbox="217 887 1406 1279" style="list-style-type: none"> (1) 山梨県側からのトンネル工事は静岡県境まで掘削が進んでいるが、J R 東海の姿勢と静岡県の対応策など、吉田町として現状をどう見ているか。 (2) 大井川の水が毎秒2トン減少、水質汚濁問題も含めて、吉田町への影響をどう見ているか。 (3) 工事沿線各地で水枯れや地盤沈下などの問題が発生している。課題解決に明確な回答がない以上工事中止を求めるべきではないか。又、将来にわたっての補償問題を文書で確認する必要があると考えるがどうか。 		

3	議席番号 7 番	蒔田 昌代 議員	開始予定時間 6月11日 午前11時
<p>【災害時における避難所の施設整備について】</p> <p>令和6年1月に起きた能登半島地震の被災地に町からトイレカーの配備などの支援活動を行った。その時の活動報告が各自治会に掲示されていた。この支援活動で得た知見や経験を活かし、町の防災計画に反映させていただきたいと考える。</p> <p>災害時には避難を必要とする住民が避難所に避難し、避難所で生活することが想定されるが、避難所での生活環境が少しでも良いものとなるには、食料や飲料水生活のための水やトイレ、寝ること(睡眠)をどうするかが重要となると考える。</p> <p>また、住民が避難所に避難したものの、その後の状況により、在宅避難者になることも想定される。</p> <p>そこで、吉田町地域防災計画のなかの第1編共通対策編、第2章災害予防の第6節住民の避難体制のなかにある「避難所の施設整備について」在宅避難時も含め、以下質問する。</p> <p>(1) 「貯水槽、井戸、給水タンク、仮設トイレ、マンホールトイレ、マット、非常用電源…」とあるが、この中で、井戸について、避難所における整備の状況や管理体制はどのようになっているか。</p> <p>(2) 使用されていない個人所有の井戸も町内にはあるが、災害時にその井戸を使用できるようにするための考えはあるか。</p> <p>(3) 「トイレカー、トイレトレーラー等のより快適なトイレや災害時シャワーシステム等の保健衛生に関する物資等の備蓄に努めるものとする」とあるが、この3つの保健衛生に関する物資を増やすために購入する考えはあるか。</p>			

4	議席番号 12番	開始予定時間 6月11日 午後1時
<p data-bbox="236 309 1225 342">【ゾーン30などによる、安全・安心な通行空間の整備について】</p> <p data-bbox="220 353 1402 432">吉田町の小学校児童数の減少が目立つ。少子化を実感しているなか小学校の児童の登校時に自動車事故に巻き込まれるニュース報道が目につく。</p> <p data-bbox="220 443 1402 521">吉田町では幸い、最近は事故の記憶はないが特別ではない。できる対策はおこなわなくてはならない。</p> <p data-bbox="220 533 1402 745">特に最近は、カーナビ技術の開発と普及率が拡大し、大きく行動範囲を広げた。地理に詳しくなくても目的地への誘導が確実に行われる。どんなに道路幅員が狭くても、どんなに危険な道路であっても確実に誘導する。そして、最も怖いのは、目的地への抜け道として利用されることである。同時に、クルマの大型化、高性能化、馬力の強化は危険性を感じさせる。</p> <p data-bbox="220 757 1402 835">警察は、「ゾーン30」「ゾーン30プラス」等により生活道路における人優先の安全・安心な町の整備を進めている。</p> <p data-bbox="220 846 1402 1059">警視庁のHPには、「ゾーン30」とは、生活道路における歩行者や自転車の安全な通行を確保することを目的とした交通安全対策の一つである。区域（ゾーン）を決めて時速30キロの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内におけるクルマの走行速度や通り抜けを抑制します。と掲載されている。</p> <p data-bbox="220 1070 1402 1283">また、「ゾーン30プラス」とは、生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の整備のさらなる推進を図るため、最高速度30キロ毎時の区域規制と、狭さくやスラローム等の物理的デバイスの適切な組み合わせにより交通安全の向上を図ろうとすることをいい、警察と道路管理者が連携して全国的に整備を進めているものとある。</p> <p data-bbox="252 1294 531 1328">そこで、質問する。</p> <p data-bbox="228 1384 978 1417">1 「ゾーン30」「ゾーン30プラス」について。</p> <p data-bbox="252 1429 1402 1552">(1) 警察と道路管理者が連携して整備を進めるとあるが、道路管理者である担当課はどこか。連携の具体策及び目標は。</p> <p data-bbox="252 1563 1137 1597">(2) 警察と道路管理者それぞれの役割及び住民との関連は。</p> <p data-bbox="228 1608 1217 1641">2 中央小学校を中心としたエリアでの「ゾーン30」について。</p> <p data-bbox="252 1653 1402 1731">(1) 現在、中央小学校を中心としたエリアで「ゾーン30」を設定されている、設定に至る経緯と、どのような効果を求めたのか。</p> <p data-bbox="252 1742 930 1776">(2) 設定前と設定後の変化は検証しているか。</p> <p data-bbox="252 1787 1121 1821">(3) 「ゾーン30」と「スクールゾーン」との相関関係は。</p> <p data-bbox="228 1877 1402 1989">3 自彊小学校区では自彊小学校、放課後児童クラブ、わかば保育園、いきいきセンターが位置的にまとまった。近隣の住宅開発により児童数も増加している。そのため、人優先の安全・安心な通行空間が重要な要素となった。し</p>		

かし、学校北側を通る、青柳北3、4号線は最高速度30キロ毎時の規制はあるが、東名インターへの通り抜けのためクルマの走行速度は30キロ毎時を大幅に超過するクルマが大半である。また、この道路は資料にある通り、わかば保育園の園児の散歩道になっている。

近隣住民からは、この危険性に対して安全・安心対策の要望が出ている。

- (1) クルマの減速は安全確保には有効な手段である、「ゾーン30プラス」には速度減速のためのハンプや滑り止め等がある。危険から町民・児童を守るため、このエリアは「ゾーン30プラス」を活用した安全・安心の確保が必要と考える、町の考えは。
- (2) 近隣住民からの要望に町は対応するのか。

4 住吉小学校のエリアは道路幅が狭く危険個所が多くある。

- (1) 人口減少への対応からも「ゾーン30プラス」は必要である、町の考えは。

【重度障害者（児）医療費助成制度の拡充について】

現在、重度障害者（児）医療費助成制度は、身体、精神、知的障害などに対し、それぞれに基準が設けられ、障害の程度に応じて助成が行われています。その中で、療育手帳は、A または B に分けられており、それぞれに A1・A2・A3 と B1・B2・B3 と、6 段階の判定基準が設けられています。県基準では、療育手帳 A に限り医療費助成が行われ、療育手帳 B には助成がありません。しかしながら、静岡県が公表している資料によると、12 市 3 町が県基準よりも拡充し、療育手帳 B までを助成の対象としています。現在吉田町は県基準通りとなっていますが、近隣では、島田市、藤枝市、焼津市が療育手帳 B までに助成を拡充している状況です。

そこで、以下の点について、質問します。

- (1) 重度障害者（児）医療費助成制度の現状の在り方および考え方は。
- (2) 療育手帳の制度と、現在生じている地域間格差についてどのように考えているか。
- (3) 療育手帳の助成対象の拡充についてどう考えるか。

【小中学校の校舎内乱入による暴行事件を事例とした当町の対策について】

5 月 8 日の午前 11 時ごろ、東京都立川市の市立小学校で、男 2 人が教室などで暴れ、取り押さえようとした教職員 5 人がけがをし、駆け付けた警官が 2 人を暴行容疑で現行犯逮捕したという事件が発生しました。この事件は、児童間のトラブルを巡り学校側と相談していた母親が、思うような話し合いにならず知人の男に連絡し、そもそも学校とは無関係の男 2 人が校舎内に入り、教職員に暴行をしたという事件です。子どもにけがが無かったことは不幸中の幸いでしたが、立川市の教育長が話しているように、「想定を超えていた」事件だと思います。

そこで、以下の点について、質問します。

- (1) この事件を受けて、どこに問題や課題があると分析されているか。
- (2) このような事件を起こさないために何が必要だと考えるか。
- (3) 今後の具体的な取り組みは。

6	議席番号 11番 八木 栄 議員	開始予定時間 6月12日 午前10時
<p>【小中学校におけるプール授業について】</p> <p>夏日も記録するような暑さに、プール開きを待っている子どももいることと思います。学校におけるプール授業は、義務教育の中で義務とされているわけですが、最近「プールの授業を中止する」という学校のニュースも耳に入ってきます。</p> <p>プール授業を中止するには、色々な事情がある事と思います。しかしながら、いざという時に命を守る手段にもなる泳力を付けるのは、義務教育の重要な役目だと思います。</p> <p>このような事から以下質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) プール授業の実施状況や効果は。 (2) 水泳指導の実施状況や課題は。 (3) 水泳授業の重要性やメリットは。 (4) 小中学校プールの維持管理状況と今後の計画は。 (5) 今後のプール授業についてどう考えて行くか。 		

7

議席番号 5 番

楠元 由美子議員

開始予定時間

6月12日 午前11時

【町の部活動改革の取り組みについて】

文部科学省では、2023年度から2025年度までを「改革推進期間」とし、部活動改革の取り組みを進めております。2025年2月スポーツ庁・文化庁有識者会議により改革の理念及び基本的な考え方が出され、「地域移行」から「地域展開」に変更され、原則、すべての休日学校部活動において地域展開の実現を目指す、2026年度から改革実行期間へ移行、費用負担の在り方や地方公共団体における推進体制の整備の課題などの中間とりまとめが出されました。

町は、令和5年3月に設置された、「吉田町部活動の在り方協議会」での協議、教育に携わる代表者、保護者などの意見を踏まえ、「吉田中学校部活動の地域移行スケジュール」を計画しました。更に「地域クラブへの移行の基本的な考え方」を「吉中生の『やってみたい・楽しみたい』」に定める持続可能なクラブ活動をタイトルとされ、①生徒の主体性活動②楽しむ活動③持続可能な活動の三つの柱としました。

また、教育委員会内に地域クラブ推進の事務局を設置、地域クラブ「よし活クラブ」開設準備を始めるなど今後の動きに期待をしております。ただ、文科省で紹介されている市区町村の取り組み事例をみると運営形態はさまざまであり、どのような展開ができるのか、生徒の主体性活動への創出、費用負担の在り方、中体連との関わりなどの課題がでてくるのではと心配しております。

以上を踏まえ以下の点について、質問します。

- (1) 地域クラブ推進の事務局の役割とは。
- (2) 吉田中学校の部活動は全て地域展開に変わるのか。
- (3) 地域展開への課題は。
- (4) 今後の中体連事業への参加と関わり方は。